

授業科目 薬理学	区分・教育内容 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進		
授業担当者 佐々木 修 (中通総合病院)	開講時期 中期	単位 1 単位	時間数 30 時間
授業の目的 疾病ごとに使用される薬物の分類と作用機序、薬理作用・有害作用および管理について理解する。 授業の目標 臨床現場での薬物治療において、有効性の確認と有害事象のチェック及び薬物の管理方法を理解できるようにする。			
授業概要 1. 臨床で使用する薬剤を適正に管理できる知識を獲得する。 2. 薬物を生体に投与したときの吸収・分布・代謝・排泄及び薬物受容体を介して薬理作用の発現と有害作用の発現を理解し、日常の臨床の場で生かせる能力を身につける。 3. 疾病とそれに対して使用される薬物の作用機序及び有害作用を理解し、臨床での患者管理に生かせる能力を身につける。 授業計画（進め方） 1～ 2 回目 ①薬理学総論 ・医薬品と法令 ・薬の有害作用 ・薬物動態 ・薬理薬効に影響する要因 ・薬の投与経路 ・薬物相互作用 ・薬の管理 3～ 7 回目 ②末梢神経系作用薬 ③中枢神経作用薬 ④心臓・血管系作用薬 8～10 回目 ⑤抗悪性腫瘍薬 ⑥免疫治療薬 ⑦抗アレルギー薬・抗炎症薬 11～14 回目 ⑧消化器・呼吸器・生殖器系作用薬 ⑨物質代謝に作用する薬物 ⑩抗菌薬（適正使用を含）・消毒薬 ⑪輸液、その他 15 回目 ⑫まとめ			
テキスト 系統看護学講座 専門基礎 薬理学 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 筆記試験 授業態度（特に始業時の心構えを評価する。教科書等の準備不足はマイナス評価）			